

[産業カウンセリング 12月号 別冊]

・2016年度新シニア育成講座開講の募集について …… P1

2016年度(平成28年度)

新シニア育成講座**開講の募集について(12月募集開始分)****募集概要(各科目共通事項)**

受講資格	産業カウンセラー資格を有し、学びを継続しながら今後産業カウンセラーとして実践活動することを旨とし能力向上に意欲を持って取り組める者。 協会に資格登録をしている会員であること。
募集期間	2016年12月19日(月)～2017年1月4日(水) ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。 ※定員に満たない場合は募集期間を延長します。 延長は協会本部ホームページの記載の確認もしくはお問い合わせください。
申込方法	①会員マイページから、またはメールでの申し込みとなります。 郵送・FAXでの申し込みは原則として受け付けません。 申込先は開催を主催する本部または支部になります。 なお申込書式は協会ホームページからダウンロードしてください。 http://www.counselor.or.jp/course/tabid/138/Default.aspx ②受講確認メールを受信後に、振込先へ受講料を振り込んでください。 ③受講料の入金を確認した時点で申し込み完了メールを発信し、受講が確定します。
申込先	講座によって申込先が違いますので各科目の申込先をご覧ください。
振込先	受講確認メールに記載されます。ただし講座によっては振込先通知前に、再度受講の条件について了承の確認をさせていただく場合があります。
キャンセル	受講料入金確認をもって受講申込み完了となります。キャンセルについては3月号別冊②もしくは協会本部ホームページに掲載している新シニア育成講座の受講約款をご参照ください。 なお、キャンセル・欠席された場合、講座当日以降に配布されるレジュメ・資料の配付はございません。
受講条件	次の条件に満たない場合は受講をお断りする場合があります。 ・協会とメールの送受信ができること。 レポ等とのやりとりのため、データファイルの送受信可能なアドレスをご用意ください。 (ケータイ・スマホのみは不可) ・期日までに受講申込みおよび入金完了されていること。 ・事前学習で必須に指定されている図書については読了していること。 ・事前課題(設定科目の場合)の作業が、事前提出の場合は期日までに提出されていること、もしくは当日持参の場合は講座開始前に指定どおり完了していること。 ・守秘義務に関する誓約書に署名し受講前に提出していること。

<p>修了認定条件</p>	<p>新シニア育成講座では各科目とも、実習・グループ討議を非常に重要視していますので、全日程・全時間の連続した出席が必須となります。</p> <p>事前課題について期日までの事前提出もしくは当日の持参（設定科目の場合）、講座への連続した全時間の出席、講座の到達目標の修得、修了レポートの完了をもって修了となります。</p> <p>前述の条件を満たさない場合、または講師による最終的な評価が一定の基準に達していない場合は未修了となります。</p> <p>その場合、当該科目の単位取得のためには再受講が必要となります。</p>
<p>守秘義務の遵守について</p>	<p>新シニア育成講座では実習やグループ討議において受講者の自己開示がなされたり実際のケースを扱う場合があり、その内容を講座外で公表することは禁止します。また各科目の講座内容はすべて日本産業カウンセラー協会の著作物であり、写真撮影、録画、録音およびWEB、SNS、Facebook、Twitter 等への記載・転載、さらに二次利用は禁止します。安全な場を確保するため、守秘義務に関する誓約書に署名捺印の上、ご提出いただきます。</p> <p>なお受講時に許可無く撮影、録音された場合は、記録媒体を回収の上で直ちにご退出いただき、当該科目は未修了となります。</p>
<p>その他</p>	<p>すでにシニア産業カウンセラー資格をお持ちの方でも受講は可能です。</p> <p>ご不明な点は協会本部 育成・研修部・シニア講座担当者（電話：03-3438-4568）までお問い合わせください。</p>
<p>資格登録制度</p>	<p>1日6時間の科目については、出席1日あたり5ポイント、6時間を超える科目は7ポイントが付与されます。</p>

北関東支部開催分（北関東支部へお申し込みください）

募集概要（1）

講座名	科目No.1：認知行動療法
講師	福井 至（東京家政大学 人文学部 心理カウンセリング学科 教授）
時間数／単位数	18 時間（講義 3 時間、実習 12 時間、グループ討論 3 時間）（自学習 5 時間程度）／ 3 単位
日時・場所	2017 年 3 月 4 日（土）、5 日（日）、12 日（日）・3 日間 さいたま共済会館（さいたま市浦和区岸町 7-5-14） ※会場は近隣に変更となる場合があります。 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	24 名（最少催行人数：10 名） 46,440 円（税込）
申込先	WEB 申込み、または北関東支部（kenshu@jica-saitama.org）
講座概要および目的	<p>来談者中心療法は大変に有効な方法であるが、そのみではカウンセリングの展開が困難な場合もある。そのような場合に、認知行動療法に含まれる方法である論理情動療法を来談者中心療法に付け加えると、問題解決に至れる場合も多々ある。</p> <p>また 2010 年よりうつ病の認知療法・認知行動療法が、2016 年には不安障害の認知療法・認知行動療法も保険点数化された。そのためカウンセラーも、どのようにそれらの心理療法が実施されているか、理解していなければならない時代となった。</p> <p>さらに実際の産業カウンセリング場面においては、双極性障害や PTSD の方への対応も考えられ、そのような障害に対する認知行動療法の要点を知っておいた方がよい場合もありうる。</p> <p>そのため、論理情動療法や、うつ病の認知療法・認知行動療法について実施できるようになること、双極性障害や各種不安障害の認知行動療法の実施法についてはその要点を理解できるようになることを目的とする。</p>
到達目標	認知行動療法を用いたカウンセリングである認知行動カウンセリングができるようになることを到達目標とする。
事前学習	<p>日本認知療法学会のホームページにある認知療法・認知行動療法マニュアル（http://jact.umin.jp/manual.shtml）および別途指定する課題図書を読み、理解できたことや興味が持てたこと、および疑問点や質問したいことなどをレポートする。2000 文字以上 2200 文字以下、受講 2 週間以前に提出。</p> <p>※指定期日までに事前課題が提出できない場合、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となります。</p>
修了条件	修了レポート 3000 文字程度、受講後 2 週間以内に提出する。テーマは講座終了時に出題する。
その他	ワークにおける発言内容の守秘義務を負うことになるので、その点を了承して参加すること。

募集概要 (2)

講座名	科目№. 14：コミュニティ・アプローチ (コミュニティ心理学的心理援助の実際)
講師	原 裕視 (目白大学 人間学部 心理カウンセリング学科 教授)
時間数/単位数	6時間 (講義 2、グループワーク 4) (自学習 3時間程度) / 1単位
日時・場所	2017年3月11日 (土)・1日間 埼玉県民健康センター (さいたま市浦和区仲町 3-5-1) 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了 (昼食 1時間)
定員・費用	24名 (最少催行人数：12名) 16,200円 (税込)
申込先	WEB 申込み、または北関東支部 (kenshu@jica-saitama.org)
講座概要および目的	心理援助の専門家・ファシリテーター・コーディネーターとして活動する受講者が、個人心理臨床的アプローチから環境との適合性の調節、さらにはシステムへの介入へと専門性の枠を拡げようとする時、重要となる考え方や方法・手段などを理解し、講義とグループによる事例検討を通じて、実践的な事例対応能力をつけることを目的とする。 講義の後、グループに分かれて事例検討を行い、アセスメント、方略の策定、介入計画の作成などを行うことにより実践的な理解を深める。 各グループで作成した介入計画を発表し、質疑、討論を通じて更に理解を深め、相互に評価も行う。
到達目標	Person in Context、すなわちコミュニティの中で生き、生活している存在としての (文脈内存在としての) 人間の理解、およびそこで直面する問題 (病理、困難、解決課題、発達成長 etc.) の理解と援助を提供するために必要な発想、概念、方法を学び、効果的な介入計画が立てられるようになることを目標とする。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 課題図書の内容を踏まえ、指定されたテーマについて A4 用紙、2000 文字程度でレポートにまとめ、事前に指定した期日までに提出すること。 3. 指定されたテーマで事例をまとめて事前に提出すること。 ※指定期日までに事前課題が提出できない場合、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となります。
修了条件	1. 事前課題の提出 2. グループワークのアウトプットの出来栄と、プロセスでの参画の度合いや貢献度を評価する。 3. 修了レポート 講座終了時に出题されるテーマについて 3000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	個人心理臨床 (カウンセリング、心理療法) の経験があることが望ましい。

関西支部開催分（関西支部へお申し込みください）

募集概要（3）

講座名	科目№.17：人間関係形成の実践的理解
講師	濱田 多美代（当協会認定講師）
時間数／単位数	6時間（講義2、グループ討議4）（自学習3時間程度）／1単位
日時・場所	2017年2月12日（日）・1日間 関西支部研修センター（中央区本町1-4-8 エスリードビル本町7階） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名（最少催行人数：12名） 16,200円（税込）
申込先	WEB申込み、または関西支部（jimukyoku2@jica-kansai.jp）
講座概要および目的	産業カウンセラーが、コンサルタント、コーディネーターやファシリテーターとして企業等組織にかかわるには、経営幹部や管理職、人事労務担当者、産業保健スタッフなどとの間で「この人なら……」と思ってもらえる信頼関係を築く必要がある。そのような関係を形成するには、人間関係に関するさまざまな研究の知見を知り、それらを実践的に応用することができなければならない。このスキルは、職場のリーダーシップや人間関係について教授する場合や、カウンセリング面接でのクライアントとのレポートづくりにも有用なものである。 本講座では、人間関係形成およびその主要なツールである対人コミュニケーションに関するさまざまな実践的理論や技能を事前学習、グループ討議、実習を通じて習得することを目的とする。
到達目標	人間関係形成およびその主要なツールである対人コミュニケーションについての実践的理論に基づく技能を身に付け、コンサルテーションなどの場面で組織担当者との信頼関係づくりや研修の場で応用できるようになることを目指す。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 別途指定する課題を行ってこること。 ※当日講座開始前までに課題が終了していない場合、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となります。
修了条件	1. 事前課題 2. 修了レポート 2000字程度 受講後2週間以内に提出する。 テーマは講座終了時に出題する。

募集概要 (4)

講座名	科目№.21：働きやすい職場づくりの実践的理解
講師	峯村 隆久（株式会社セフィーロ代表取締役社長・GI コンサルタント）
時間数／単位数	12時間（講義5、討議・演習7）（自学習3時間程度）／2単位
日時・場所	2017年3月25日（土）、26日（日）・2日間 関西支部研修センター（中央区本町1-4-8 エスリードビル本町7階） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名（最少催行人数：10名） 31,320円（税込）
申込先	WEB申込み、または関西支部（jimukyoku2@jica-kansai.jp）
講座概要および目的	産業カウンセラーにとって、企業団体へのコンサルテーションは今後更に重要性を増す。メンタルヘルスの改善のみならず、モチベーション、モラル、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション等の向上、いじめやハラスメント防止、WLBの実現によるヘルシーカンパニーづくりのための企業管理運営体制と文化・風土の確立を支援する重要な役割を期待されている。その役割を果たすための実践的なスキルを講義、グループ討議、個人演習を通して習得する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織に働きかける際の産業カウンセラーのスタンスの関わり方やスタンスを理解する。 2. 職場をマネジメントする立場である管理者が自らのマネジメントを改革する必要があると自覚させ、本気になるように導ける。 3. 「働きやすい職場」を実現するための理論・手法を正しく理解し、それを管理者に伝えながら、組織のマネジメント変革を支援・推進できる。
事前学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 課題図書の内容を踏まえ、その感想文をA4用紙、1200文字程度でレポートにまとめ、事前に指定した期日までに提出すること。 <p>※指定期日までに事前課題を提出できない場合は、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となりますのでご注意ください。</p>
修了条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前課題の提出 2. 修了レポート 演習で作成する改革プランを見直し、可能であれば職場の管理者と相談してレベルアップを図ったものを、指定日までに提出する。
その他	ご自身の関わる職場という「組織」の問題点を意識していて、その改善・改革に興味と意欲がある人が望ましい。

募集概要 (5)

講座名	科目No.12：セルフキャリア開発
講師	石川 邦子（当協会認定講師）
時間数／単位数	6時間（グループ討議2、演習4）（自学習3時間程度）／1単位
日時・場所	2017年2月26日（日）・1日間 新大阪丸ビル新館（大阪市東淀川区東中島1-18-27） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名（最少催行人数：10名） 16,200円（税込）
申込先	WEB申込み、または関西支部（jimukyoku2@jica-kansai.jp）
講座概要および目的	シニア産業カウンセラーとして、クライアントが人生を創造していくことを支援する者として信頼されるためには、カウンセラー自身が自己のキャリアに関心を持ち、主体的にキャリアを築いている必要がある。このため、自分自身の人生を肯定的に振り返り、将来に興味・関心を持って適応していく力を身につけることを目的とする。 この講座では、他者のキャリア開発をモデルに自分自身のキャリアをイメージする。指定事例（自営、企業内カウンセラー、経営管理者、人事労務担当、地域などの活動の事例）についてグループで討議する。 次に自分自身の経験を振り返り肯定的に再確認したうえで、現状の環境と自身のリソースを確認して、その中でどのように今後のキャリアを築いていくかを計画する。
到達目標	他者のキャリア開発モデルの中から、自身のロールモデルになる部分を見出し、自分の過去を肯定的に受け入れ、現在の自己のCAN・WHATS・NEEDSを整理して、今後のキャリアをデザインしていくことを到達目標とする。自分自身のキャリアビジョンを明確に持つことで、他者のキャリア支援ができる土台を築くことを到達目標とする。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 自身の周囲にいる産業カウンセラーとして仕事に従事している方に依頼をしてキャリアインタビューを実施し、まとめる。 3. 別途配布するキャリア開発事例を参考に、配布するシートに自身のこれまでのキャリアをまとめる。
修了条件	1. 事前課題を行い、当日持参する。 2. 修了レポート 講座終了時に出题される2つのテーマについてそれぞれを1500字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	科目No.9「キャリア開発領域の事例検討および実習」の受講前にこちらを先に受講しておくことを強く推奨します。 キャリアデザイン及びキャリア支援に興味があり、基礎的な知識を有する方を対象としています。 募集時に定員を超えた場合は、科目No.9を既に受講した方もしくはキャリアコンサルタントの資格を持つ方を優先として抽選を行います。

